

第 77 号

発行所 〒157-8560
 東京都世田谷区成城1-13-1
 東京都市大学附属中学校・高等学校内
 電話 03-3415-0104
 発行責任者 川 鍋 勝 弘
 編集責任者 大 高 慧 史



東京都市大学附属中学校・高等学校〈同窓会ホームページ〉
<http://tcu-kasiwa.org/>



2024年5月18日に同窓会懇親会を開催

今回の懇親会では、37期、39期、60期の同期会が行われ、招待した恩師を含めて総勢約140名の方々が旧交を温めました。



37 期同期会



たちと、10年振りに同窓会を開催することを決めました。コロナ禍で機会を逸していましたが、準備期間は短かったものの幹事6人で手分けして準備を進め、同窓会事務局のサポートにも助けられ無事に開催することができました。

当日は約50名の同級生が集まり、招待した恩師の先生方も交えて懐かしい話に花を咲かせ、笑い声が絶えない温かい会となりました。

会を盛り上げるために何か余興を行いたいと考えましたが、

余興を行うメンバー集めは容易ではありませんでした。しかし、それぞれの忙しい生活がありながらも快く手を挙げてくれた仲間たちが現れて実施するこ

37期同窓会(同期会)幹事代表 小林 隆之

前年に同級生2人の訃報を受けて集まった仲間

とができました。

余興は組み体操をやることが決まり、恩師の江島



先生にも参加をお願いしたところ快諾していただき、まるで35年振りの特別授業のような先生の指導を受けながら、幾度かの練習会を重ねて作品作りに取り組みました。久しぶりに同級生と恩師で一つの目標に向かって汗を流して練習をして絆が深まるのを感じながら、当日も楽しんでパフォーマンスする事ができました。

このような機会を得たことは本当に幸せで幹事冥利に尽きる思いですが、一緒に取り組んでくれた仲間と恩師に改めて心から感謝しています。

最後に、同窓会の開催にご協力いただいたすべての皆様に心から感謝申し上げます。皆様のおかげで、かけがえのない時間を共有することができました。

どうも有難うございました。

39期同期会



同窓会に参加して

39期 吉川 弘継

一昨年末、同級生からお声がけいただき、母校公認の同窓会をお手伝いすることになりました。39期生有志による同窓会の幹事を20年近く務めてきた経験を評価していただきこのようなご縁をいただけたのは嬉しい限りです。

卒業してから32年、50歳という節目に母校公認の同窓会に参加させていただくことは先輩方がこの会を長年支えてくださったおかげであり深く感謝いたします。

昨年2月から級友への声がけを本格的にスタート。同級生258名のうち、半数以上の方とは卒業以来でしたが、それでも一人ひとりの顔や思い出がすぐに蘇ってきました。中高6年間という時期が、いかに鮮烈で思い出深いものだったかを改めて実感

しました。

最終的に39期生からは30名の参加がありました。ハガキだけでなく、SNSや直接の連絡が実を結び、特にハガキでの返事が予想以上に多く返ってきたのは驚きでした。

返送されたハガキに丁寧な言葉が添えられていたり、思い出話が書かれていたりするのを読んでいると、まるでタイムカプセルを開けたような感覚でした。この瞬間に立ち会えるのは、幹事としての醍醐味の一つです。

同窓会当日は30年ぶりに再会する級友も多く、自然と笑顔がこぼれました。皆が学生時代に戻ったかのような表情で会話を楽しんでいて、とても温かい雰囲気が広がっていました。

また、有志の同窓会の合言葉である「在学中に話したことのない級友と話してみよう」のもと、当日も積極的に声を掛け合いました。その結果、在学中は距離を取っていたはずなのに同窓会を経て多く会話するようになった級友もいて、特に一緒に事業を展開するようになった級友たちとは「当時の何百倍も深く話してるよな、俺ら」とこの面白い縁を楽しんでいます。

このような級友との再会や交流は、私たちが共有する「原体験」の大切さを再確認する時間でもありました。

50歳になり原体験を得る機会も減っていくなか、価値観や行動の基盤となる原体験とともに持つ仲間たちとの時間は、社会に出てからの切磋琢磨の中で、

家族とも恋人とも同僚とも違う別のフォルダに収まる何にも代えがたい財産であり、信頼関係だと感じています。

そうした空間で過ごす時間は心地よく、2時間があっという間に過ぎていきました。二次会も盛り上がり、年末恒例の有志による同窓会までしばしの別れを惜しみつつ閉会しました。

今回の参加をきっかけにキャリアスタディのお手伝いについてもお声がけいただきましたので、今後どのような形で取り組むか、級友たちと楽しみながら考えております。

最後に、今回の同窓会開催にあたり、多大なるご協力をいただいた母校の先生方、同窓会事務局の先



輩後輩の皆様、そして級友の皆さんに心から感謝申し上げます。今後も母校と同窓会がますます発展していくことを願っております。このような機会をいただきありがとうございました。

60期同期会



点として、60期の担任をしていただいた村山先生、高橋先生ともお話しができた事です。

中学生・高校生の学生の頃から知ってくださっている先生は今でも印象に残っていますし、卒業して12年経っている今でも当時の先生のままでした。お話しした時間は少しでしたが、お二人の元気なお姿を拝見できて嬉しく思いました。

この同窓会を通じて、久しぶりに再会した友人それぞれの成長を感じることができ、とても

貴重な経験となりました。

最後に、改めて企画・運営をした皆様に御礼申し上げます。

ありがとうございました。

同期会の感想

60期 塩見 嵩

昨年の5月18日(土)の同窓会懇親会での30歳の同期会に参加して、長年会っていなかった同級生と再会し、とても楽しいひとときを過ごしました。

13歳の頃から知っている友人それぞれが社会で経験を積み、成長した姿には率直に感慨深いものを感じました。

高校の卒業式以来に再会した友人が大多数の中で、「〇〇部だったよね」「〇〇線が通学路だったよね」といった昔話に花が咲き、当時の無邪気さや情景を共有することができ、とても楽しい時間でした。

もう一つ、同窓会に参加して良かったなと感じた



高橋信博先生(左から3人目) 村山吉行先生(左から4人目)

同窓会による在校生への支援について

青年部部長補佐・在校生支援委員会委員長 60期 白井 達哉

同窓会は2023年度より、在校生の部活動や生徒会活動で通常の年間予算ではまかないきれない費用の支援を行うために、「TCUステップアップ助成金」の取り組みを開始しました。

この助成金の選考の過程なども含めて、在校生の部活動、生徒会活動がより豊かな学びの場となることを支援の目的としています。

同窓会の予算の都合もあり、残念ながら支援を希望した団体すべてに助成金を交付することはできておりません。

そこで、同窓会理事から選考メンバーを選任し、書類選考、面接審査を行い、助成団体を選定しています。

この選考の過程で、資料作成、メールでのやり取り、面接を通して、在校生の努力、成長を感じています。

助成金交付の実績は次の通りです。

2023年度：中高硬式野球部・中高天文部

2024年度：中高硬式野球部・中高自動車部・
高校軽音楽部

これらいずれの団体の交付申請内容もステップアップにふさわしい内容で、これからのステップアップに同窓会理事一同期待しています。

2024年度の柏苑祭では、“同窓会の部屋”に助成金交付団体の報告書、購入品などを展示しました。

2025年度も同様の施策を実施する予定です。引き続きこの支援策を通して、在校生の成長、そして卒業後に大きく羽ばたいてくれることを期待しています。

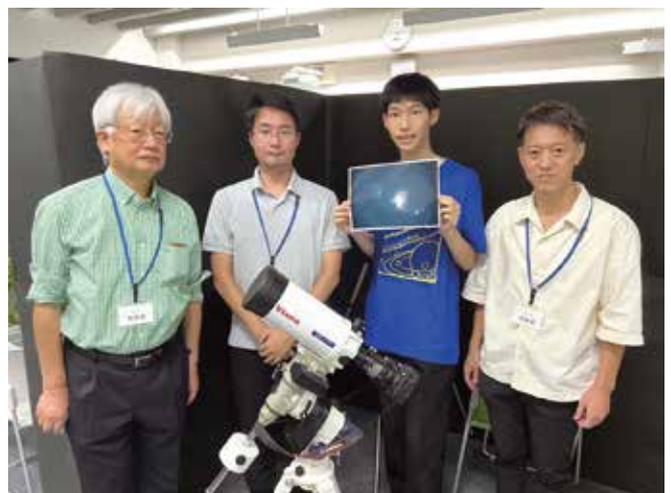
中高硬式野球部



中高自動車部



中高天文部



同窓会について

定期的に行っている同窓会の活動

1. 総会・懇親会を毎年5月に行います。
2. 理事会を年6回開催します。
3. 同窓会報「柏」を年1回発行します。(ホームページにも掲載)
4. 母校の「柏苑祭」に参加します。
5. 母校の「キャリアスタディ」に協力します。
6. 同窓会会員の勉強会を開催します。

キャリアスタディへのご協力をお願い

同窓会では、2009年度から中学3年生対象のキャリアスタディに協力しています。

中学3年生に「今までと、今の自分を見つめ、将来の職業や進学に目を向けてもらいたい」と考え、1年間のプログラムが組まれています。これは「将来の職業を決めること」が目的ではありません。そもそも職業選択とはそんなに単純なものでは、ありませんから。それでも少しずつ具体的な行動に移していく、そんなプログラムです。

今後も同様に活動を続けていくために、活動に協力していただける同窓会会員を随時募集しています。

これまでに協力いただいた同窓生からは『自分の子供だとなんとなく照れくさいが、後輩だと結構話ができる。』等、ご好評をいただいております。

さらに、協力企業(団体)からも、引き続き協力したいとの嬉しい回答をいただいております。

皆様の積極的な応募をお願いいたします。

2025年度同窓会総会・懇親会のご案内

総会：日時：2025年5月10日(土曜日)10時～10時30分

場所：Web開催

懇親会：日時：2025年5月24日(土曜日)16時30分～(有料)

場所：渋谷エクセル東急ホテル 東京都渋谷区道玄坂1-12-2(渋谷マークシティ内)

同窓会会員 [1. 正会員：(1) 東京都市大学(旧武蔵工業大学)附属中学校・高等学校の卒業生で入会を意思表示した者 (2) 同校に在学した者で本会の趣旨に賛同するもの 2. 賛助員：(1) 東京都市大学(旧武蔵工業大学)附属中学校・高等学校の現旧教職員 (2) 本会の趣旨に賛同し理事会の承認を得た者(同窓会規約より)] の皆様はお誘い合わせの上ご参加下さい。

懇親会には現職の先生方及び退職した先生方にもご参加いただきますので、交流や情報交換の場としてご利用ください。

事前申し込みなしでもご参加いただけます。

キャリアスタディ 2024

業あり先生

2024年6月22日

このプログラムは、社会で活躍する人生の先輩方による講演会です。

キャリアスタディの目的である「社会人とは」、「仕事とは」、「仕事に就くまでの間に何を学んでおく必要があるか」などを中心に、生徒達へメッセージを伝えます。

講演終了後、学んだ事や感じた事をまとめた生徒達の感想シートは講師へフィードバックされ、多くの生徒が講義の内容をしっかりと受け止める高い聴く力や、気持ちのこもった言葉で感想を表せるアウトプット力を備えている事に驚かされました。このようなフィードバックを受けるプロセスによって、講演者にとっても更なるモチベーションの向上に繋がり、運営に関わっている同窓会にとっても本活動の意義を再確認する良い機会となっております。



宇田川 晴義 先生

(9期生)

東洋大学
名誉教授(評議員)

演題：「本当にしたい仕事は：周囲の人を幸せにする夢と理想を持とう」

【生徒の感想】

★今日の話聞いて中学、高校では夢を探す大切な時期だと改めて感じました。自分は中3になって親

から少しずつ「自立」できていると思っていますが、「自律」という点では易きに流されやすいことがあります。大人になると全て自己責任になってしまうので、この1年の間にきちんと「自立」と「自律」ができるようにしたいです。また、目標を持って、それを達成するにはどうすべきか、考えて、計画を立てて、物事を進めていきたいと思いました。中高生活を大切にしたいと思います。

★今日、僕はどんな時でも夢や希望をもつことがとても大切なことだと深く実感しました。宇田川先生の経験を話していただいたことで、中学・高校を有意義に過ごすための方法が分かりました。また、渋谷栄一の夢七訓も大谷翔平選手の目標達成シートとからめて考えることで、とても理解しやすく分かりやすかったです。僕もこれからは時間をかけてでも夢を見つけて、それに向かって進んでいくために工夫していきたいです。

★今回、貴重なお話をしてくださり、ありがとうございました。大谷選手の夢のかなえ方は、誰にでもできるわけではないやり方だと思っていたのですが、実際に聞いたら自分にもできることだと分かりました。また、それ以外にも「夢七訓」や、中村哲さんのことを知って、夢を叶えることの大切さ、方法をより深く理解することができました。これを覚えて、これからの自分の目標を達成したいと思います。英語の勉強法、ありがとうございました。

★時代と共に変化する社会を意識し、新しい価値を探求することは重要ということに、本当にその通りで私もこのことを心掛けて道を歩んでいこうと思ったが、その後、同時に、変わる事のない価値(常識)を大切に、ということを知り、変えないものもあり、変えるものと変えないものの区別が大事と考えました。そして、続けることは大事であり、本物の力になるということに、私も目標を立てて、それに向かって何かを続けたいと思った。

★大谷翔平選手の目標達成シートの話を通して、自分の夢を実現するには、目標をいうだけではなく、何が必要かを考えることが大事だと感じた。

また、中学・高校時代は「鉄は熱いうちに打て」で、色々な事を経験し、将来のことを考えることが

大事だと分かった。また、問題として、物事をとらえるのではなく、課題としてとらえることで、自分事として考えることが大切だということが分かった。



鈴木 威一 先生

(9期生)

株式会社 エグゼック
取締役会長

演題：武蔵工大卒業を誇りに思い、世界の超有名大学卒業生たちを部下として使い、世界的な幾つもの会社を成功させた、都市校の先輩と話そう！

【生徒の感想】

★お話の中でとても強調されていたと思ったのが、自分のやりたいことをする、夢を持つことが大切だということだ。先生がさまざま挫折の中で自分の夢を目指し続けて行動するということに感動した。また、一番を目指すのに必要なことを日常の中で吸収し生かしていたように感じた。

一流になっても、自分を支えてくれたひとへの感謝を忘れることなく生きていて素晴らしいと思った。

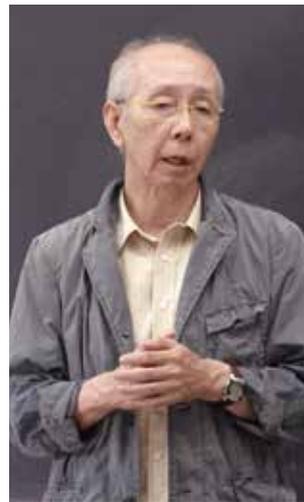
自分も先生のようにまだ夢はないけれど、日々努力したい。

★夢を持つということは、とても簡易ではあるが、それを実現するのは難しい。それを成しとげるには、その実現に向けてとなる過程(ステップ)がとても大切であり、考える必要があると強く感じました。自分も先生と同じようにいろんなことで失敗したことやできないことがありました。でも先生の話聞いて、ここであきらめるべきでなく、まだチャンスはあり自分の好きなことを貫き通すことはとても素晴らしいことだと強く伝わった。

★自分がやりたいと思ったことはやった方がいいと

いう言葉を聞いて、何事も行動に移すことが大切だと思った。一番を目指し、その目標に向けて、頑張ることで夢を実現できるようになる。挫折をしてもその隣には喜びがあるという話を聞いて、自分も苦しいことやいやなことがあっても頑張れようと思った。人に感謝して、生きることで人からも信頼されると思った。

★常に一番を目指しつづけることで、大きな成功につながっていくのだと実感しました。僕は英語が得意なので、これからも英語をのぼしつづけ、世界で働きたいと思うようになりました。なんでも行動することで駄目と思ったことでも楽しく、人の役に立てるようなものになるかもしれないというお言葉が非常にひびきました。いろいろなことにこれからもチャレンジしたいと思います。



蒲生 政和 先生

(22期生)

グレイス・ビズキャリア・
アンカーズ 代表
(キャリアコンサルタント・
キャリアデザイン講師・
ICTシステムアドバイザー)

演題：「システムエンジニアって何？」

【生徒の感想】

★最近、自分の将来のために何ができるか悩んでいたのが、先生が言っていたように興味があることに頭をつっこんで、選択肢、やりたい事を見つけないと思った。特性要因図の話はとても興味を惹かれた。それについて詳しく調べて未来の職業の目標の一つとして考えてもよいと思うほど魅力的だった。技術を身に付けるということは自分との勝負だという意見にはものすごく共感したので今書いたように様々なことに頭をつっこみ、経験して自信をつけ、将来への道を形作っていきたい。

★先生のお話を聞く以前は、システムエンジニア(SE)とはどのような職業なのか、よく分かっていなかったが、SEへの興味がさらに湧いた。また、アメリカへの留学した経験で、SEに対する興味と自信が湧いたと、蒲生先生が仰ったことから、興味のあることは、とりあえず取り組んでみて、さらに興味が湧いたら続ける、ということが大切だと感じた。そして、これは職業選択だけでなく、全てのことにおいて大切だ、と考えた。

★当時の様子や自分の心情などを詳しく伝えていただいたので分かりやすかったです。SEの職種によって必要な能力が異なることを知った。ITの変化の過程を具体例を少し挙げて理解しやすかったです。システムエンジニアは作業工程が存在しており業種によっても異なった作業工程が存在しており、システムエンジニアでも自分のなりたい分野を少しずつ明確にしていくことが大切だということを知り、納得がいき、自分にはない考え方を取り入れさせていただきました。システムエンジニアは一人で行うが他人とのコミュニケーションを取るために字の美しさも大事であることを知り、意識していこうと思いました。

★この講演を聞く前は、SEはコンピューターだけを使ってアプリなどを作る仕事だと思っていたので、多くの種類のSEがあり驚いた。また、SEは多くの業界と接するためコミュニケーション能力が必要不可欠だということがわかり海外の研修旅行の時などに初対面の人と会話し、養っていきたくと思った。まず何かに興味を持ち、その選択肢を増やしていくことで、将来の仕事の幅が広がると考えたので今のうちにより多くのことに触れて、没頭できるものを増やしていくべきだと感じた。

★僕は、この話を聞く前ではシステムエンジニアについて、プログラミングに関係する仕事だと思っていたが、蒲生さんの話をきいて、SEにも多種多様な種類があることを知って、SEに対する見方が変わった。アメリカへの留学の話をして、何事もそれができる機会があれば、チャレンジすることが大事だと思った。そのチャレンジによって将来が大きく変わることもある。

SEになるには、コミュニケーション能力が必要と言われたが、自分には自身があるので、もしかし

たら合うのかもって思った。



山下 博一 先生

(22期生)

(株)NHKグローバルメディアサービス スポーツセンター

演題：メディア・リテラシーを学び、情報を読み解く力・発信する力を身につけよう！

【 生徒の感想 】

★情報を取り入れるときに事実と真実を区別し、フィルターにかけてとり入れるのが大切だと分かった。大河ドラマの題材は、地方の人たちがぜひと願っていることを知り、おもしろかった。災害放送はNHKの使命だと全職員が思い、毎日訓練をしていると聞き、たのもしく安心できた。すべての番組はだれかしらのフィルターを通っていることを意識しながら情報をとり入れなければ、情報にだまされてしまったり、自分が被害を受けてしまうということを知った。普段聞けないような話が聞けて、とても楽しかった。

★自分も山下先生と同じでスポーツが好きで将来スポーツ関係の仕事に就きたいと思っているため、自分の好きなことを仕事にしている山下先生を本当に尊敬しています。高校生の時からスポーツ放送の仕事をしたと考えていたとおっしゃっていたため、自分も残りの学生生活の中で具体的な自分の将来をイメージできるようにしていきたいです。

★今回の話を聞いて自分がかんばったものが何か達成できるととても達成感があり、それが自分の好きなことだと楽しいんだなど知りました。またテレビ会社で働いている父親からなにをしているか聞いていってから話を聞きましたが自分の知らないことがたくさん聞くことができ、自分の知ってたりする

職業でも知らないことがたくさんあると知り、調べてみようと思いました。

★自分はなかなか将来どんな職業をやるか考えられなかったが、今回の業あり先生の話聞いて、将来の職業の決め方を知ることができてよかった。放送業界のくわしいしくみや仕事内容を聞いて、この仕事の大変さを知った。山下さんが言っていた「メディアのあらゆる情報から真実を読み取る能力」は自分でも将来社会に出たときに絶対必要だと思うし、それを今から自分にも身につけられるように、日ごろからメディアの情報を意識したい。



石川 善信 先生

(24期生)

(株) トップライズ
コンサルタント

演題：建設業とは プレストレストコンクリート構造物を例にとり

【生徒の感想】

★建築業の中にもいろいろ種類があり、土木工事一式、建築工事一式など27種類もあることにびっくりした。建設業の流れも説明してくれて、発注者が建設コンサルタントに依頼し、詳細設計をやって、建築・土木・設備を行っている会社が工事を行うということを知れて、やっぱりたくさんの方が関わると感じた。また、建設業に限らず、電気工事、電気通信業にも技術資格が必要なることを知れたし、自分の意見を通してもらうのにも、退職した時に声をかけられたりと、資格を持っているだけで対応が関わり、有利になることを知れて良かった。

★技術士になったメリットを質問させていただきましたが、「相手が自分の言うことを聞いてくれる」ということで、僕は建築系の仕事で最も重要な

は、技術でも実力でもなく、いかに自分の言うことが相手に受け入れられるかということに気がきました。いくら技術や実力が充分にあったとしても自分の言うことが相手に受け入れられなければ意味がありません。そこで技術士の資格を持っていることが重要で、資格を持っているだけで自分の言うことを全て聞いてくれるそうです。やはり技術士の話最後に持ってきたのは最も重要なことを全力で伝えたいという先生の意図が汲み取れます。

★土木事業と建築事業の違いを分かりやすく教えてくれたし、写真を活用して説明してくれたので、建築に関する知識が増えました。技術士という職業において、橋をつくることで7年も家族と離れていても、今でも橋が使われているので、そこに喜びを感じると言っていました。その点で、やっぱり喜びを感じないと仕事は続けられないなと思いました。

★お話をきく前に建築者は土木も建築もすべて同じ人がやっていると思っていたが、公共のものを主とする土木、民間のものを主とする建築にわかれていると知り、専門でわかれていることが意外だった。また、引っ張りに弱い無筋、ひびがはいる鉄筋、たえられるプレストレスト(PS)の三種から技術に進歩が感じられた。橋をかけるときにRCは15mおきにだがPCは100mおきにと聞き、PCコンクリートのすごさを知った。話をきいて、技術士に興味をわいた。



川本 恭平 先生

(58期生)

(株) SUBARU

演題：「総合力」で世界を変える！—幅広い経験を活かすジェネラリストというキャリア—

【 生徒の感想 】

★先生の話聞いて一番感じたことは、人生を楽しんでいるなーと思いました。失敗してつらくなっても、次に活かして最終的には人生を楽しんでいることが本当にすごいなと思いました。僕は、理系に進もうと思っていますが、先のことを考えると文系もおそろかにしないようにしようと思います。また、本への愛情をととても感じました。誰かの言葉をとでも楽しそうに語っていたからです。僕も、一生心に残るような名言に出会いたいです。

★川本さんのお話を聞いて、自分のこれからのキャリアについてどう考えるかをより透明に感じました。川本さんは最初に都付校にいたときの学校生活、経験を話してくれました。川本さんが中学生・高校生の時にキャリアをどう考えて、その時の悩みを話したのが自分のためになりました。今の自分の将来の悩みと重ねるところがあって、少し安心することが出来ました。川本さんが今の仕事でのものごとの考え方もすごくユニークで自分の勉強でも新たな一面をくれました。川本さんが理系でも文系の考

え方をするとしたのがすごく印象に残りました。よりこれからの文系・理系の選択に透明感が出来、これからのキャリアをどう考え、その道をより理解出来たのがすごく満足しました。

★自分は正直、文理選択が今後の人生に大きな影響を与えていると思っていました。しかし、川本さんの3つの科学を自身のキャリアを通して学び、それらすべてを活かすような生き方を見て、自分は「文」「理」だけに縛られず、もっと広い視野を持つことで、よりやりたいことや将来に活かせるような能力を得ていきたいと思いました。

★自分の好きな物をする、色々な意見を取り入れるという事や、時には考える前に行動することの大切さが良く分かった。また、人や親友、働くという事は何なのかという本質や意義を考えさせられた。これから社会を担う(であろう)僕も今からでも勉強は勿論のこと、色々な事に挑戦し自分にむいている物や、自分の好きな物を発見し、それを活かした仕事に就きたいと思った。これからも部活と勉強を100:100で両立していきたい。

キャリアスタディ 2024

企業研修

2024年8月実施

キャリアスタディ最大のプログラムです。

この企画は、生徒達が同窓生引率のもと実際の企業や団体へ訪問し、目で見て、体で感じて勉強するものです。ただ、興味のある企業に行き、楽しそう、つらそう、というのではなく、「社会人とはどのようなものか」「どういうことが仕事になるのか」「社会に出るまでにどういうことを経験しなければいけないのか」などの様々なことを学んできてもらいます。

この企画にご理解とご賛同をいただき生徒達の研修を受け入れていただきました企業様・団体様、またコーディネーターとして生徒達を引率していただきました同窓生の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

2024年度キャリアスタディ企業研修を受け入れていただいた34の企業様、団体様

株式会社ハイパーサイクルシステムズ
共同通信社
財務省
大日本印刷株式会社 (DNP)
メテオコントロールジャパン株式会社
株式会社河村建設
ドウカティジャパン株式会社
あさい内科医院
株式会社合田工務店
富士フイルムビジネスイノベーション
博報堂
国土交通省
日本歯科大学附属病院
はせべ歯科
株式会社 エグゼック
コアレックス三栄株式会社 東京工場
リコージャパン株式会社
医療法人社団 ユニメディコ
公益財団法人 東京都公園協会 (駒沢公園)

東急建設株式会社

成城消防署

日産工機株式会社

株式会社 古田土経営

極東開発工業株式会社

凸版印刷株式会社 印刷博物館

日産モータースポーツ&カスタマイズ株式会社

ムーンクラフト株式会社

株式会社木附製作所

伊和起(いわき)ゲージ

神奈川トヨタ自動車株式会社

株式会社ティン

大成建設

清水建設

株式会社トムス

同窓生の企業研修 協力者募集

同窓会では同窓生の企業研修協力者を募集しております。

① 企業研修の受入れ先として

キャリアスタディの活動・目的にご理解・ご賛同いただけるご自身の会社・勤務先・取引先などの企業様や団体様。

※業種や規模は問いません。

② 企業研修のコーディネーター(引率者)として

夏休み(8月)の1日間5~10人のグループで企業様や団体様を訪問します。

- ・その会社(団体)の仕事内容見学、可能な場合は実習も行います。
- ・引率の同窓生(コーディネーター)と、『仕事とは』『職業選択』『その他』等について30分~1時間の話合いや講義をします。

これまでに協力いただいた同窓生からは『自分の子供だとなんとなく照れくさいが、後輩だと結構話ができる。』等、ご好評をいただいております。

さらに、協力企業(団体)からも、引き続き協力したいとの嬉しい回答をいただいております。

キャリアスタディ：<https://www.tcu-jsh.ed.jp/educational-program/career>



ブラックホークス(アメリカンフットボール)
創部40周年OB会 39期 笠嶋 大介
2024年6月22日に“渋谷 エクセルホテル東急

6階プラネッツルーム”にて、アメリカンフットボール部創部40周年OB会を盛大に開催しました。

この素晴らしい記念の日に、幹事の一員として関

わせていただきありがとうございます。

この会は、OB 会幹事である 45 期吉田大君の「創部年は何年なんだ!？」の一言から始まりました。

その後、諸先輩方のご助言により 1983 年創部と教えていただき、同窓会会長でブラックホークス (BLACKHAWKS) OB の 35 期川鍋さんが発起人となり開催する運びとなりました。

そして多くの OB の協力により初代監督、2 代目監督、先生方、OB の 33 期から 70 期までの幅広い年代が集まり交流を深め、各々が多方面に渡り活躍している事を知る良い機会となりました。

会場では創部当初の話から、現職教諭で顧問の 64 期 OB 田中先生による部活動報告もあり、40 年に渡る歴史と近況を知ることが出来ました。

この様に幅広い年代が集まったにも関わらず、和やかで一体感に包まれた会に参加出来たこと、“日本一格好良いユニフォーム”に袖を通しチームの一員になれたことに感謝し、誇りを感じました。

創部から現在まで続くブラックホークスを常に導き皆に寄り添ってくださった桜庭先生、顧問、監督、コーチ、部活動を支えてくださった保護者の皆様に心からの感謝を申し上げます。

改めて、OB 会開催にあたり発起人となった川鍋先輩、幹事の皆様、そしてご参加くださった皆様あ

りがとうございました。

今回ご参加いただけなかった OB の皆様にもお会いしたいので、次回開催の折には是非ご参加ください。

今後とも部の存続、発展に参加していきたいと思っておりますので、皆様のご教授、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

アメリカンフットボール部創部 40 周年記念同窓会の感想

64 期 (現教諭) 田中 拓斗

昨年の 6 月 22 日 (土) にアメリカンフットボール部ブラックホークスの創部 40 周年記念同窓会を行いました。この同窓会では、様々な世代の OB が集い、学生時代の思い出話などをしました。

現在 OB として顧問を務めている私から、現在のブラックホークスの大会成績や OB の方々への感謝の気持ちを伝えました。OB の方々が紡いできた「勝ちにこだわる気持ち」を胸に、今後とも生徒を指導してまいります。

ブラックホークス OB の親睦も深まりましたし、大変有意義な時間となりました。このような機会を設けていただいた幹事の方々には感謝申し上げます。ありがとうございました。



7時間耐久レース参戦報告

中高自動車部 OB 63期 安藤 優汰

栃木県の“モビリティリゾートもてぎ”で、2024年7月6日(土)7月7日(日)の2日間に渡って開催された、Joy耐(7時間耐久レース)に同窓会有志が参戦しました。

2023年度及び2024年度の柏苑祭で展示したレース車両で出場し、完走57チーム中総合30位(143周)で完走し、下記の参戦の目標を達成しました。

<レース概要>

名称：“2024もてぎEnjoy耐久レース”

通称：“Joy耐”

開催日程：2024年7月6日(土) 公式予選

2024年7月7日(日)

7時間耐久レース

開催場所：“モビリティリゾートもてぎ”

ロードコース(1周/4.8013km)

観客動員数：7月6日 3,400名

7月7日 3,100名

延べ 6,500名

参戦チーム数：62チーム

<チーム体制>

車両：ETS エンドレスフィット(N1仕様)

Aドライバー：白井 達哉(OB)

Bドライバー：梅原 拓臣(OB)

Cドライバー：荒井 巖(教員)

Dドライバー：高田 耕嗣(OB)

Eドライバー：松本 陸(OB)

監督：安藤 優汰(OB)

<参戦の目標>

カーボンニュートラル燃料を使用した車両で自動車レースに参戦して完走することで、将来にわたって持続可能なクルマ遊びのあるべき姿を提案し、自動車文化・モータースポーツの活性化に貢献する。

<レース結果>

予選 総合45位

決勝 総合30位(143周) 完走

第1スティント 白井 1~9周

スタートドライバーはもてぎのシビックワンメイクレースで優勝の経験もある白井が担当して、45番手スタート。

第一ドライバーの走行上限時間が55分、給油所オープンがスタート60分後のため、9周目で早めのピットインをする戦略をとった。

接触等なく36位まで順位を上げて荒井へバトンタッチ。

第2スティント 荒井 10~35周

現役教師でもあり、筑波サーキットでのレースで活躍中の荒井。ドライバー交代のみ行い59位でコースへ復帰。その後、他チームが次々とピットインするなか安定したペースと燃費で周回を重ね、6位まで順位を上げた。

第3スティント 松本 36~62周

給油とタイヤ交換を行い、第3スティントは初めての公認レース参戦の松本。

クラス9でエントリーしている当チームは給油時のピットストップ時間が12分と長く、51位まで順位を落としコースへ復帰。

毎周回毎に狙い通りの燃費で安定して走行し、16位でピットイン。

第4スティント 高田 63~88周

海外での24時間耐久レースを経験している高田。給油を行い50位でコースへ復帰。昼間の時間帯でコース上は猛烈な暑さとなっていた。

クールスーツとドリンクはあるものの、車両もドライバーも暑さでペースが上がらない。

燃費を稼ぐ走りに切り替え、次のスティントでの燃費の余裕を作ることができた。

22位で無事にピットへ生還。

第5スティント 白井 89~115周

給油とタイヤ交換を行い、49位でコースへ復帰。燃料の余裕ができ、ペースアップ。

しかしチェッカーフラッグが近くなるにつれて周囲もペースを上げており、抜きたくても抜けない状況が続く。28位でピットイン。

第6ステイント 梅原 116～143周

カーボンニュートラル燃料を使って「完走」が必須な今回のレース、最終ステイントは車をいたわる走りでスーパー耐久へも参戦している梅原が担当。

給油を行い45位でコースへ復帰。燃料は多少の余裕があることがわかったため、走りを切り替え最後まで猛プッシュ。

ほとんどのチームが最後の給油を終えている中で、30位まで順位を上げて無事チェッカーを受け、完走を果たした。

<成果>

1) “2024 もてぎ Enjoy 耐久レース”で、カーボンニュートラル燃料を使用して完走することができた。

2) ドライバー、メカニック、サポートとして多くの同窓生が参加し、同窓生の絆が更に深まった。

3) レース結果も総合30位／143周と健闘し、多くのモータースポーツファンを前に、カーボンニュートラル燃料を使用しても、ガソリンを使用したチームと張り合えることを示すことができた。

4) モビリティリゾートもてぎ公式X(旧twitter)で紹介していただいた。

https://x.com/motegi_official/status/1809800018058252460

5) Joy 耐公式のレース中継(YouTubeライブ)で取り上げていただいた。

以下、当チーム紹介部分のみ切り抜き版

<https://youtu.be/TA6N4O1itcU>

6) 自動車メーカーの方からもお声がけいただくなど、注目していただいた。

自動車、モータースポーツにご興味のある同窓生の方、ぜひ一緒に活動しませんか。



第49回総会報告

本議案書は、2024年5月11日(土) Web開催の総会で会員の承認を得た。

2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)活動報告

1. 同窓会総会はホームページに議案書を掲載し、Web開催して議案書を承認した。
2. 会員の親睦を図るための懇親会を実施した。
3. 年6回の理事会を開催した。
4. 年1回機関紙「柏」を発行した。(HPにも掲載)
5. 母校の「柏苑祭」に参加した。
6. 母校の「キャリアスタディ」に協力した。
7. 母校のクラブ活動支援として、硬式野球部及び天文部の機材購入経費を援助した。
8. 勉強会は実施できなかった。
9. 学校との連絡会を1回実施した。

2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)決算報告

一般会計報告(収入の部)

科目	予算額	決算額	内容
入会金	2,240,000	2,240,000	70期生224名
引継金	5,536,258	5,536,258	前年度より
キャリアスタディ	1,200,000	1,210,194	
雑収入	50	1,060,052	懇親会費口座からの繰入、利息(52円)
合計	8,976,308	10,046,504	

一般会計報告(支出の部)

科目	予算額	決算額	内容
会議費	150,000	115,000	理事会、学校との打合せ他
交通費	10,000	0	
総会費	10,000	1,730	懇親会宅配便等雑費(総会はWeb開催)
『柏』制作費	10,000	0	編集委員会
通信費	30,000	23,850	Web会議ツール他
印刷費	250,000	213,620	柏76号1,800部、規約250冊
事務費	60,000	108,937	銀行手数料他
事務局活動費	24,000	24,000	
同窓会賞費	500,000	491,723	
小委員会費	60,000	0	部活支援小委員会
名簿整備費	40,000	38,500	
柏苑祭費	30,000	160,352	
HP維持費	80,000	78,760	サーバー費
会員交流補助費	1,000,000	1,958,584	懇親会補助他
キャリアスタディ	1,200,000	1,210,194	
基金へ繰入	500,000	500,000	
予備費	500,000	109,000	自動車部OBへの資金援助(改良費用)
繰越金	4,522,308	5,012,254	
合計	8,976,308	10,046,504	

基金会計報告(収入の部)

科目	予算額	決算額	内容
繰入	500,000	500,000	
引継金	3,000,073	3,000,072	前年度より
雑収入	25	29	預金利息
合計	3,500,098	3,500,101	

基金会計報告(支出の部)

科目	予算額	決算額	内容
取崩し	0	0	
繰越金	3,500,098	3,500,101	
合計	3,500,098	3,500,101	

上記の通り2023年度会計を報告いたします。

2024年4月1日

会計代行 佐々木 幹夫

会計監査報告

前記会計内容を監査の結果、正しく表示、記載してあることを認めます。

2024年4月5日

会計監査 長谷部 伸一

2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)活動計画

1. 同窓会総会は、議案書をホームページに掲載し、Web開催して承認を得る。
2. 会員の親睦を図るための懇親会を実施する。
3. 年6回の理事会を開催する。(必要により、臨時理事会を開催する。)
4. 年1回(1月末)機関紙「柏」を発行する。(HPにも掲載)
5. 母校の「柏苑祭」に参加する。
6. 母校の「キャリアスタディ」に協力する。
7. 在校生活動支援として、臨時に必要な経費の援助を行う。
8. 勉強会を実施する。
9. 学校との連絡会を実施する。

2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)予算

一般会計(収入の部)

科目	予算額	内容
入会金	2,290,000	71期生229名
引継金	5,012,254	前年度より
キャリアスタディ	1,400,000	
雑収入	1,050,050	懇親会費口座等から(150名分)、預金利息(50円)
合計	9,752,304	

一般会計(支出の部)

科目	予算額	内容
会議費	150,000	学校との打合せ、理事会その他
交通費	10,000	
総会費	10,000	懇親会宅配便等雑費(総会はWeb開催)
『柏』制作費	10,000	編集委員会
通信費	30,000	Web会議ツール他
印刷費	250,000	柏76号1,600部、規約250冊他
事務費	150,000	銀行手数料他
事務局活動費	24,000	
在校生支援費	500,000	
委員会費	60,000	在校生支援委員会
名簿整備費	40,000	
柏苑祭費	200,000	
HP維持費	245,000	サーバー費(¥80,000)、改修費(¥165,000)
会員交流補助費	2,000,000	総会懇親会(記念品¥1,650×150含む)、アメフト部
キャリアスタディ	1,400,000	
基金へ繰入	100,000	
予備費	500,000	
繰越金	4,073,304	
合計	9,752,304	

基金会計(収入の部)

科目	予算額	内容
経常費から繰入	100,000	
引継金	3,500,098	前年度より
雑収入	30	預金利息
合計	3,600,128	

基金会計(支出の部)

科目	予算額	内容
取り崩し	0	
繰越金	3,600,128	
合計	3,600,128	

理事: 理事は、“東京都市大学附属中学校・高等学校同窓会規約附属書”に記載の“同窓会役員名簿”のとおり。(ホームページをご覧ください。)

*同窓会ホームページ

<http://tcu-kasiwa.org/home/index.html>



★2025年度の
総会・懇親会案内

総会・日時: 2025年5月10日(土曜日) 10時～10時30分

場所: Web開催

懇親会・日時: 2025年5月24日(土曜日) 16時30分～(有料)

場所: 渋谷 エクセル東急ホテル 東京都渋谷区道玄坂1-12-2(渋谷マークシティ内)

編集後記

『きょうも柏の木の下で』

柏編集長 大高 慧史 (60期)

同窓会「むさこう」副会長の大高慧史と申します。現在は茨城県ひたちなか市に住み、インフラ業を主とする企業の設計部門に籍を置いております。休日は音楽鑑賞やデジタルではないゲームを嗜む日々を過ごしております。

この度、東京都市大学附属中学校・高等学校同窓会報「柏」編集業務の任を川鍋会長より引き継ぎ編集長を拝命する運びとなりました。若輩者ではございますが、以後何卒よろしく願い申し上げます。

中高で年に一度行われている柏苑祭に、私は遡ること小学6年生のときに初めて赴き、ここで目の当たりにした部活動の出し物に感銘を受けて、より一層の志望動機とした経緯があります。以来、卒業後は感染症の対策の一環として来場規制がされた2年間を除いて毎年必ず訪れているイベントとなっております。

理事に就任して以降、「同窓会の部屋」の設営に携わるようになり、その関係で在校時に師事を受けた先生方との会話を弾ませる時間を過ごしております。

※

今年度の柏苑祭では、同窓会は従来通り教室展示として同窓生同士の憩いの場を運営しながら、校舎の入り口付近で自動車部OBによるレーシングカーの試乗会を行って行きました。



音楽が好きな私としては、吹奏楽部の演奏と中庭で行われるステージ企画は抑えておきたいものです。関心のあるグループを見物するために中庭へ向かい、演奏を聴きながら模擬店の食事を摂るのが恒例となっているのですが、今年度のゴミステーションは、なんとアンケート調査の形式でゴミの分別を促進していた！



実際に集めたゴミの

数を回答として反映する試みもあったようで、果たしてどのような結果となったのか、気になるところです。

他にも柏苑祭では、在学時に教わっていて出産のため退任なさった先生が愛娘と共に来場していたり（復職して現在も講師として生徒を教えているそうです）、「同窓会の部屋」の隣にあった「武蔵の会」が今回の柏苑祭をもって解散となる話を伺うなど、とても感慨深い出来事が多かった印象でした。

※

昨年の11月30日には、キャリアスタディ発表会が行われました。これは、夏休みに行った企業研修を踏まえて自身の仕事・職業に対する見解や意識の変化について、生徒3-4名の班に分かれて6分程度の発表を行うものです。この発表会の場に立てるのは約70班の内の僅か6班です。

感染症の流行に伴い、企業研修は3年間休止していましたが、今年度から以前と同様の形式で開催



できるようになりました。これに伴い、発表会も従来と同様に学年全体の参集で開催しました。

私は理事として最優秀賞を決める投票のために聴講させていただきましたが、中学生とは到底思えないようなレベルの高い発表となっており、私自身が現役生であった頃に比べて熱意の差に驚くばかりです。特に最優秀賞を受賞した発表は、社会人のそれに比肩し得ると感じました。

発表会が終わった後に、キャリアスタディ関係者が年間の取組み全体の反省会を行いました。その中で企業研修で生徒達を迎える会社として参画していただいたOBから、「自分の母校でこのような素晴らしい取り組みが行われていたなんて知らなかった。もっと早く知りたかったし、来年以降もぜひ関わりたい」とのお言葉を頂きました。

私自身は柏編集長に就任したことで、同窓会として関わるイベントをこれまでとは異なる視点で見つめ直す機会を得た事が大きな収穫であったと感じております。

今号は荒削りなところもあるかと思いますが、今後も引き続き精進して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。